

「課題名：外来がん化学療法における支持療法薬処方の 薬剤師による処方オーダ入力での貢献」について

○ 研究の意義・目的

2013年1月から、薬剤師と医師が協議し作成しましたルールをもとにして、治療に必要で欠かせないお薬の処方の漏れがないよう確認しています。正しいお薬の使用は、一律な治療を受けていただくために大切なことです。今回、より安全な外来化学療法の治療のために、薬剤師の貢献度を明らかにするため、この研究を計画しました。

○ 研究対象者

平成21年1月1日から平成26年12月31日までに、広島大学病院化学療法室で点滴による治療を受けられた患者さんを対象とします。

○ 研究方法

本研究は、全て診療録（カルテ）情報を転記して行います。

カルテから転記する内容は、治療を受けられている診療科と受診日、その日に処方されたお薬、そのお薬の用法・用量です。

（個人が特定出来る情報は転記しません）

○ 研究期間 平成27年11月27日 ～ 平成28年3月31日

○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

* 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

.....

お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5575

広島大学病院薬剤部 教授 松尾 裕彰（研究責任者）

薬剤師 須川 涼（担当者）